

介護・福祉

外出支援者を育成

「トラベルヘルパー」300名輩出

エス・ピー・アイ(東京都渋谷区)は、介護技術と旅の業務知識を備えた外出支援専門員「トラベルヘルパー」を輩出し、介護を必要とする人の外出・旅行の支援を行っている。同法人の講座を受講したトラベルヘルパーがこのたび、300名を超えた。



篠塚 恭一
代表

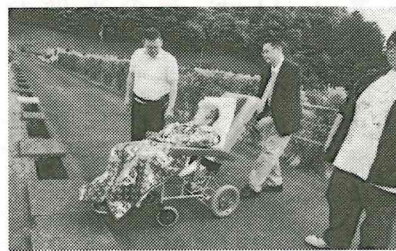
トラベルヘルパーとは、同法人が認定する

受講者は介護職員や旅行会社の職員が中心だ。

「非常勤介護職として働 きながらトラベルヘルパー

旅行を希望する家族も多い」という篠塚代表。旧

「トラベルヘルパー検 定」取得者で、トラベルヘルパー養成講座を受講すれば取得することが可能な資格だ。級は介護旅行に関する基礎知識を持つ3級、日帰りの外出支援を行う準2級、そして宿泊を伴う外出に同行する2級からなり、準2級・2級は座学に加え、実地研修も行う。



▲トラベルヘルパーが車いすを 押す様子

「として活躍する人も多く、自分のライフスタイルに合わせて働くことが出来るのが特長です」(篠塚恭一代表)。

「旅行や外出をしてい く中でそれがリハビリと なり、介護度が軽くなっ たというケースもたくさんあります(篠塚代表)。 「介護を必要としている 人もなお旅行に行きたい と思う利用者が多く、利

用者の7割がリピーターだ。旅行を終えるとトラベルヘルパーはアルバム作成し、利用者にプレゼントする。篠塚代表は「全国でトラベルヘルパーを育成し、介護が必 ず必要となり、身体が不自由な人が自由な移動や旅が 可能な地域社会を作って みたい」と語る。